

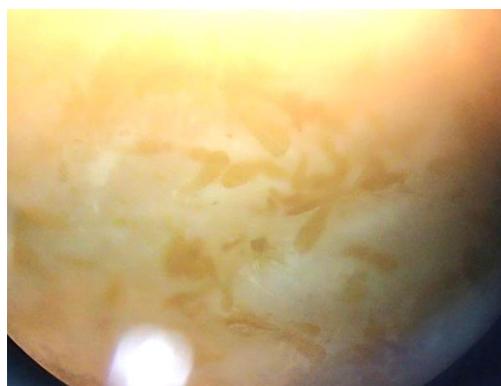
●浜の話題

- 12月18日、鎌倉漁協漁業研究会による研修会が開催され、会員18名が参加しました。担当普及指導員から他地区のブランド化の成果事例と、低予算で簡易にできる磯焼け対策について説明があり、その後、出席者は今後の取組内容について活発に協議しました。



鎌倉漁業研究会勉強会の様子

- 12月19日から、横須賀市長井、同市大楠、逗子市小坪および鎌倉市腰越の各地区の漁業者が、暖海性ワカメ種苗導入試験に取り組んでいます。長崎県の布津（ふつ）漁協から手に入れた高水温に耐性のあるワカメ種苗と県内産種苗の生育を比較する試験です。このほか、長井地区では岩手県の重茂（おもえ）漁協と青森県栽培漁業振興協会から購入したコンブ種苗の育成試験も実施しています。



岩手県重茂漁協(左)と青森県栽培漁業振興協会(右)から試験的に導入したコンブ種苗

- 12月22日、みうら漁協金田湾地区の定置網でアンカータグ（標識）のついたスズキ（推定体重2.5kg）が獲れました。ジャパンゲームフィッシュ協会に問い合わせたところ、このスズキは11月11日に遊漁者が川崎市川崎区の扇島前で釣った個体を放流したものであることが分かりました。アンカータグなどの標識がついた魚が獲れた時は、県水産技術センターか担当地区の普及指導員にご連絡ください。
- 12月23日、三浦市の金田漁港にある金田海業センターで朝市が開催されました。会場ではスズキやヒラメ、アジやサザエ等の新鮮な魚介類のほか、ダイコン等の地元野菜が販売されました。またワカメのしゃぶしゃぶが無料配布され、来場したお客さんは皆、買い物の間にも新ワカメの食感を楽しんでいました。



朝市に並ぶ新鮮な地魚



ワカメしゃぶしゃぶの無料配布

- 12月25日と1月15日、横浜市漁協本牧支所はトリガイの資源調査を実施しました。桁網で漁獲されたトリガイは計数・測定した後、本牧漁港内で養殖試験を行っていきます。
- 新年を迎え、各浜で今年の大漁や操業安全を祈願した「船祝い」や「みかん投げ」が開催されました。逗子市小坪地区と鎌倉市鎌倉地区では1月2日に、鎌倉市腰越地区では4日に各船が大漁旗を掲げ、大漁祈願のため黄金に見立てたミカン等を撒きました。当日は、多くの来場者が集まり、浜が活気付いたとのこと。
- 1月8日、腰越漁港で毎年恒例の県水難救済会による水難救護訓練が開催されました。各浜の漁協の救助員や関係者が腰越漁港に集結し、海上保安庁のヘリコプターと連携した訓練の後、今年の上安全を願って、決起の声を上げました。当日は、同会の計らいで3名の演歌歌手が招待され、鳥羽一郎さんから「兄弟船」が披露されると、会場が大いに盛り上がったそうです。
- 1月10日、横浜市西区のかながわ県民センターで「新春神奈川県漁業者交流大会」が開催され、県内の漁協や水産関係団体などから131名が出席しました。大会では、横浜市漁協柴支所所属の齋田芳之指導漁業士からアマモ場造成についての活動発表や、県漁業士会の木村智成副会長から同会の活動紹介がありました。つづいて、生命の星地球博物館の佐藤武宏専門学芸員から本県沿岸の貝類の生態について、横浜丸魚株式会社の齋藤融氏から横浜市中央卸売市場における県産県消の取組みについてそれぞれ講演がありました。当日は漁業士認定証書授与式も行われ、横浜市漁協柴支所の小山晃良青年漁業士（得修丸）、小山博之青年漁業士（大新丸）、茅ヶ崎市漁協の北村征一指導漁業士（あさ丸）の3名が漁業士として新たに認定されました。



漁業者交流大会の様子

- 1月10日、平成31年度漁業士会総会が横浜市西区のホテルプラムで開催されました。総会では、平成30年度の事業報告が行われ、また平成31年度の事業案および予算案が承認されました。総会には漁業士51名、関係団体から18名の計68名が出席し、総会後の懇親会には計57名が出席しました。
- 1月15日、長井町漁協の事務所が長井漁港にある同漁協地方卸売市場の2階に移転しました。住所

と電話番号はこれまでと変更ないとのことです。

- 1月18日、横浜市漁協柴支所は昨年11月から養殖試験を実施しているホタテガイの中間調査を行いました。網カゴの中で育成したホタテガイの成長・生残は良好で、またあわせて行った貝毒検査も問題のない数値でした。

●お知らせ

- 平成30年度第3～5回漁業体験研修のお知らせ

県水産課では、漁業に就業したい方を対象に、漁船に乗り込み漁業現場の見学や体験をして、漁業への理解を深めていただく研修会を下記の日程で開催します。

【第3回】 開催日：平成31年3月5日（火曜日）／場所：長井漁港／体験する漁業：ワカメ養殖、タコツボ漁業、刺網漁業／申込期限：平成31年2月5日（火曜日）17時必着

【第4回】 開催日：平成31年3月12日（火曜日）／場所：長井漁港／体験する漁業：ワカメ養殖、タコツボ漁業、刺網漁業／申込期限：平成31年2月5日（火曜日）17時必着

【第5回】 開催日：平成31年3月8日（金曜日）／場所：平塚漁港／体験する漁業：大型定置網漁業／申込期限：平成31年2月12日（火曜日）17時必着

詳しい研修内容や申込方法などは県水産課ホームページ（下記URL）をご覧ください。

- ・かながわで漁師になるにはURL：

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/syugyou/index.html>

- 1月17日、県水産技術センターは、平成31年1月から6月までの長期漁海況予報を発行しました。これは昨年12月に（国研）水産研究・教育機構中央水産研究所が開催した会議での検討結果をもとに本県海域の漁海況予報をまとめたもので、概要は以下のとおりです。

予報概要（詳細は下記URL参照）

海況：黒潮はA型で推移し、沿岸水温は平年並みで推移する。

さば類（マサバ、ゴマサバ）：来遊量は前年並（伊豆諸島海域）。

マイワシ：来遊量は低調な前年並。

カタクチイワシ：来遊量は低調な前年並。

マアジ：来遊量は前年を下回る。

当センターでは年2回予報を発行していますので、これからの操業の参考にしてください。

- ・長期漁海況予報URL：

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/cnt/f430693/p1101542.html>

- 2月23日（土曜日）10時から14時まで、横浜市の柴漁港において、横浜市漁協柴支所が「柴漁港ホタテ浜焼き会」を開催します。会場では、横浜の海で養殖した希少な獲れたてのホタテガイを浜焼き（セルフ）でお召し上がりいただけます。皆様お誘いあわせのうえ、ご来場ください。

- 2月24日（日曜日）9時から14時まで、横浜市の金沢漁港において、横浜市漁協金沢支所が「金沢漁港海産物フェスタ」を開催します。生わかめつかみどりや生のりむしり、遊覧船等の様々な催しがあり、毎年多くの人々が来場するイベントです。皆様お誘いあわせのうえ、ご来場ください。